関係者外秘 申請年月日：2025年　　月　　日

※申請する認定種別を選択して✔を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| エンジニアリング系学士課程 |  | 情報専門系学士課程 |  |
| エンジニアリング系修士課程 |  | 建築系学士修士課程 |  |

適用基準：2019年度~

一般社団法人 日本技術者教育認定機構

会長　　岸本　喜久雄　殿

技術者教育プログラム新規審査申請書

（2025年度適用）

以下のとおり認定を申請いたします。

※ 本申請書を作成するにあたっては、本申請書様式の後ろに添付されている「申請書記入上の注意」をよくお読みください。

【申請者】

申請教育機関名称（大学名、高専名など）：

所属・役職：

氏名：

氏名(カナ)：

連絡先　〒

住所：

TEL：

E-mail：

【プログラムの情報】

（１）教育機関およびプログラムの責任者

１）JABEE対応責任者（4月以降に担当される方）

所属・役職：

氏名：

氏名(カナ)：

連絡先　〒

住所：

TEL：

E-mail：

２）プログラム責任者（4月以降に担当される方）

所属・役職：

氏名：

氏名(カナ)：

連絡先　〒

住所：

TEL：

E-mail：

（２）認定申請プログラムの名称

以下に記入する教育機関およびプログラムの名称は、審査時にプログラムの最上級学年の履修生が在籍する教育機関およびプログラムの名称としてください。また、（５）項で1年前からの認定開始を希望し、かつ上記最上級学年の在籍する教育機関やプログラムの名称と前年度の修了生が在籍していた教育機関やプログラムの名称が異なる場合には、両方を記入してください。

１）審査時の最上級学年の履修生が在籍する教育機関およびプログラムの名称

教育機関の名称（プログラムが所属する大学、高専、学部、学科、専攻科、研究科、専攻など）：

プログラムの名称：

大学、高専、学部、学科、専攻科、研究科、専攻などの名称の英語表記：

Program Title：

２）審査前年度の修了生が在籍していた教育機関およびプログラムの名称

※１年前からの認定開始を希望し、かつ審査時の最上級学年の履修生が在籍する教育機関やプログラムの名称と前年度の修了生が在籍していた教育機関やプログラムの名称が異なる場合のみ記入してください。

教育機関の名称（プログラムが所属する大学、高専、学部、学科、専攻科、研究科、専攻など）：

プログラムの名称：

大学、高専、学部、学科、専攻科、研究科、専攻などの名称の英語表記：

３）審査年度に最上級学年より下の学年で名称が変更されている場合

プログラムの最上級学年より下のいずれかの学年から上記の教育機関やプログラムの名称が変更されている場合には、以下に変更後の名称を記入してください。

変更のある学年：（　）学年以下

教育機関の名称（プログラムが所属する大学、高専、学部、学科、専攻科、研究科、専攻など）：

プログラムの名称：

大学、高専、学部、学科、専攻科、研究科、専攻などの名称の英語表記：

（３）認定審査を希望する分野（認定分野）の名称：

（４）認定申請プログラムの内容

プログラム内容の概要：

プログラムのWebサイト（URL）：

（５）「認定申請にあたっての留意点」の第６項との関係

該当するものにチェック（✔）

（　）第６項に該当するので、通常より１年前からの認定開始を希望する

（　）第６項(ｂ)、(ｃ)に該当するが、１年前からの認定開始を希望しない

（　）第６項には該当しない

以上

**チェックリスト（様式１）**

時期の記載は西暦でご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| チェック項目 | 確認の結果  (該当する□を■に変え、下線部に数字あるいは適切な文章をご記入ください) | コメント  （必要に応じ簡潔に） |
| (1)学習・教育到達目標の公開 | ・公開の時期は  　　　　年　　月  ・公開の方法は |  |
| (2)修了生の存在 | ・修了生の存在有無  □有り（審査年度の前年度からの認定開始を希望する場合は必須）  □修了生は存在しないが、実質的修了生が存在する  □なし |  |
| (3)学習・教育到達目標の達成を証明する資料等 | ・主要科目について証明に十分な裏づけ資料  　□2年分以上保有（「審査の手引き」4.9項参照）  （2年分の保有がない場合、コメント欄にその旨を記入願います。） |  |
| (4)履修者の決定  ・決定ルールの有無  ・履修者決定の時期 | ・決定ルールを　　　　年　　月に設定  ・履修者決定の時期は　学年時の　月  ※(6)項のチェック項目1の形態のように、入学と同時に履修者が決定する場合には、本欄には記入せず、コメント欄にその旨を記入願います。 |  |
| (5)プログラム名 | ・プログラム名の決定時期  　　　年　月  ・プログラム名の公開開始時期  開始時期：　　　年　月  公開方法：  ・「プログラム名に関する注意」および「JABEE認定プログラムProgram Titleの付け方について」の確認  □確認済み |  |
| (6)プログラムの形態 | □ 1. 学科(※1)全体で本プログラムを構成している  □ 2. 学科の中に本プログラムとそれ以外の部分がある(※2)  以下は高専を除く  □ 3. 複数の学科全体で本プログラムを構成している  □ 4. 複数の学科で本プログラムを構成し、構成する学科内には本プログラム以外の部分がある(※2)  □ 5. 建築設計・計画系学士課程および修士課程の計6年間の課程からなるプログラムである  □ 6. その他(※3)（　　　　　　　　　　） |  |
| (7)「認定審査の受理要件」 | □確認済み |  |
| (8)「認定申請にあたっての留意点」 | □確認済み |  |

※１ 高専の場合には「専攻科」、修士課程の場合には「専攻」とする。

※２ 本プログラム以外の部分はJABEE認定、非認定のどちらの場合も含み、その部分にプログラム名称（ｘｘコース等）が付与されている場合も付与されていない場合も含む。

※３ 1から5までの分類に当てはまらない場合には、6（その他）を選択し、形態を記入する。

申請書記入上の注意 （本項目の説明文〔３ページ分〕は申請書への添付は不要です。）

適用する基準は、日本技術者教育認定基準（2019年度～）の共通基準および個別基準です。

1. 認定種別の選択

申請する認定種別に応じて、エンジニアリング系学士課程、エンジニアリング系修士課程、情報専門系学士課程、または建築系学士修士課程のいずれかに✓を入れてください。認定種別の詳細については、JABEE Webサイトの「認定・審査」＞「受審と審査に必要な文書類」のページから「技術者教育認定に関わる基本的枠組」の第5章をご確認ください。

２）申請者、JABEE対応責任者、プログラム責任者

申請者は本認定申請を行う者で、申請時点の教育機関またはプログラムの責任者としてください。なお、以下のJABEE対応責任者またはプログラム責任者と重複してもかまいません。認定申請にあたっては、「JABEE対応責任者」（認定申請に関する教育機関の責任者。通常、校長、学部長、研究科長あるいは研究科教務関係責任者など）および「プログラム責任者」を決めて、申請書にそれぞれの氏名をご記入ください。「JABEE対応責任者」および「プログラム責任者」の役割については、JABEE Webサイトの「認定・審査」＞「受審と審査に必要な文書類」＞「審査関連書類」のページから「認定・審査の手順と方法」の3.2.1認定申請の項および用語の説明をご参照ください。また、記入いただいた「JABEE対応責任者」または「プログラム責任者」の情報に変更（交代、メールアドレス変更など）が生じた場合には、その都度JABEEまでご連絡をお願いいたします。

３）認定申請プログラムの名称

記入する教育機関およびプログラムの名称は、審査時にプログラムの最上級学年の履修生が在籍する教育機関およびプログラムの名称としてください。改組がある場合でも、改組後のプログラムに在籍する履修生が最上級学年に達していない場合には、改組前の名称を記入してください。また、1年前からの認定開始を希望し、最上級学年の履修生が在籍する教育機関やプログラムの名称と前年度の修了生が在籍していた教育機関やプログラムの名称が異なる場合には、両方を記入してください。

「教育機関の名称」と「プログラムの名称」について：

例えば、大学において学科の中の一つのコースをプログラムとするときは、該当するコース名がプログラムの名称となり、大学名から学科名までが教育機関の名称となります。また、一つあるいは複数の学科全体を一つのプログラムとするときは、学科名がプログラムの名称となり、大学名から学部名までが教育機関の名称となります。

４）プログラムの名称およびProgram Title

教育機関およびプログラムの名称は、プログラムが認定された後に、JABEEのWebサイトで国内用の認定プログラム一覧表に掲載し公表され、さらに技術士第一次試験免除指定の課程名として文部科学省のWebサイトで公表されます。

Program Titleは、プログラムが認定された後に、JABEEのWebサイトで国際用の認定プログラム一覧表に掲載し公表されます。この一覧表は、JABEEが加盟する国際協定（ワシントン協定、ソウル協定およびキャンベラ協定）の下で実質的同等性の相互承認の対象となるプログラムを確定する役割を担っています。

プログラムの名称もProgram Titleも、プログラムの内容を端的に示すものが望まれます。詳しくは、JABEE Webサイトの「認定・審査」＞「受審と審査に必要な文書類」＞「認定審査申請関連」のページから「プログラム名に関する注意」および「JABEE認定プログラムProgram Titleの付け方について」をご参照ください。

なお、教育機関の名称、プログラムの名称またはProgram Titleを公表された後に変更する場合には、JABEEにご連絡いただく必要があります。

５）認定審査を希望する分野（認定分野）の名称

　認定分野の名称は、以下に示す名称の中から選択してください。

【エンジニアリング系学士課程／エンジニアリング系修士課程】

化学及び関連のエンジニアリング分野

機械及び関連の工学分野

材料及び関連の工学分野

地球・資源及び関連のエンジニアリング分野

電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野

電気・電子及び関連の工学分野

土木及び関連の工学分野

農業工学及び関連のエンジニアリング分野

工学（融合複合・新領域）及び関連のエンジニアリング分野

建築学・建築工学及び関連のエンジニアリング分野

物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野

経営工学及び関連のエンジニアリング分野

農学一般及び関連のエンジニアリング分野

森林及び関連のエンジニアリング分野

環境工学及び関連のエンジニアリング分野

生物工学及び関連のエンジニアリング分野

【情報専門系学士課程】

CS（コンピュータ科学）分野

DS（データサイエンス）分野

IS（情報システム）分野

IT・CSec（インフォメーションテクノロジ・サイバーセキュリティ）分野

情報一般分野

【建築系学士修士課程】

建築設計・計画系分野

６）認定申請プログラムの概要

希望された認定分野の妥当性の確認や、審査員の専門分野の決定のために使用させていただきますので、プログラムの概要を簡潔に記入してください。また、教育機関のWebサイトで公開されているプログラムの情報に関するページへのリンク（URL）も記入してください。

申請書添付資料　　以下の資料を申請書に添付してください。

１）チェックリスト（様式１に記入）

２）学習・教育到達目標（箇条書き）

３）認定審査を希望するプログラムの大学、高専、学部、学科、専攻科、研究科または専攻内での位置付けが分かる構成図を添付してください。チェックリストの(６)プログラムの形態で、JABEE申請プログラムとは別のプログラム（認定、不認定にかかわらず）が併存する場合には、特にそれらとの関係を含めて、入学、プログラム配属、修了までの学生の所属の流れ、区別がよく分かるように図示してください。また、複数の学科、専攻科または専攻などにまたがる場合にも、それぞれ別のプログラムとの関係、区別がよくわかるように図示してください。

申請書の提出先と提出方法

提出先：日本技術者教育認定機構　事務局

提出方法：以下のいずれかの方法でご送付ください。

・メール添付（PDF形式ファイル）

送付先メールアドレス：accreditation@jabee.org

※文字認識可能なモードで作成されたPDFファイルが望ましい。

・メール添付での提出に支障がある場合、郵送あるいは宅配便（部数：1部）

送付先住所

〒108-0014　東京都港区芝5-26-20　建築会館4階

申請書の提出期限

2025年3月31日

審査料等について

１）審査料等の金額：

審査料等の金額は、JABEE Webサイトの「認定・審査」＞「受審と審査に必要な文書類」＞「審査料関連書類」のページの「審査料・認定維持費」をご参照ください。新規審査の年度は、審査料のみの支払いとなり、認定維持費の支払いは不要です。

２）審査料の支払い：

JABEEは認定申請を受理した後、請求書を発行します。支払期限は請求書に明記します。

３）申請の取り下げ：

申請を取り下げる場合には、JABEE Webサイトの「認定・審査」＞「受審と審査に必要な文書類」＞「審査料関連書類」のページの「申請キャンセルについて」をご参照ください。